

A-14 次の記述のうち、受信機で発生することがある混変調による混信についての記述として、正しいものを下の番号から選べ。

- 1 希望する電波を受信しているとき、近接した周波数の強力な無変調波により受信機の感度が低下することをいう。X
- 2 受信機に変調された強力な不要波が混入したとき、回路の非直線性により、希望波が不要波の変調信号で変調されて発生する。 ひずみ
- 3 増幅器及び音響系を含む伝送回路が、不要の帰還のため発振して、可聴音を発生することをいう。 ハウリング
- 4 受信機に二つ以上の強力な不要波が混入したとき、回路の非直線性により、混入波周波数の整数倍の周波数の和又は差の周波数を生じ、これらが受信周波数又は受信機の間周波数や映像周波数に合致したときに発生する。 本回変調
- 5 低周波増幅器の調整不良により、本来希望しない周波数の成分を生ずるために発生する。 寄生振動

(HZ008-3)

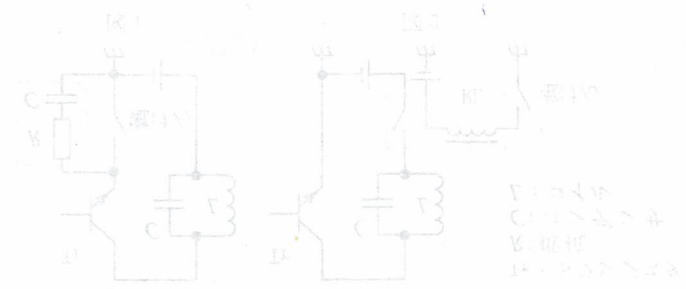
3 10 (A)
1 10 (A)



この図は、送信波と受信波の比較を示している。受信波は送信波に比べて歪みが生じている。

A-15 図1の回路は、図2の回路と等価である。図1の回路中の抵抗値R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9、R10の値を求めよ。

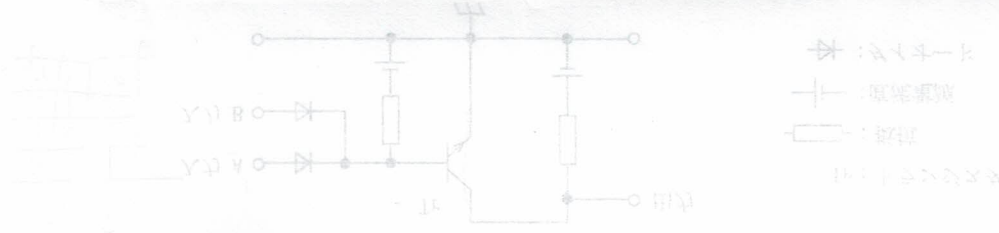
- 9 10 (A)
- 8 10 (A)
- 7 10 (A)
- 6 10 (A)
- 5 10 (A)
- 4 10 (A)
- 3 10 (A)
- 2 10 (A)
- 1 10 (A)



- 10 10 (A)
- 9 10 (A)
- 8 10 (A)
- 7 10 (A)
- 6 10 (A)
- 5 10 (A)
- 4 10 (A)
- 3 10 (A)
- 2 10 (A)
- 1 10 (A)

A-11 図1の回路は、図2の回路と等価である。図1の回路中の抵抗値R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9、R10の値を求めよ。

2 10 (A)
4 10 (A)
3 10 (A)
5 10 (A)
1 10 (A)



A-10 図1の回路は、図2の回路と等価である。図1の回路中の抵抗値R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9、R10の値を求めよ。